



谷原小だより 6月号

平成 25 年 6 月 3 日
練馬区立谷原小学校
校長 眞瀬 敦子

運動会を終えて

校長 眞瀬 敦子

昨年の運動会は工事のため校庭ではどうしてもできない中、谷原中のご厚意で無事行うことができましたが、今年度は何とか 100mトラックを取ることができ、自校でやれそうだと分かったときから、ぎりぎりの中でどのようにやるか、開催方法、時程など、悩むことばかりでした。

いただいた 192 通のご意見ご感想を全て読ませていただきましたが、日程に関しては石東中、三原台中と重なってしまい、ご兄弟のいらっしゃるご家庭には大変ご不便をお掛けしてしまいました。しかし練習時間、スポーツテストや水泳指導との兼ね合い、また雨天順延になったときのことを考えると本校だけ日曜開催にするわけにもいかず、大変申し訳なかったのですがこのような開催となりました。ご理解いただければと願います。

参観席については皆さん肯定的に受け止めてくださり、特にこのことに触れた 140 通の半数以上が来年もこの方式にして欲しいというご意見でした。『席の入れ替え制もスムーズでよかったのではと思いました。私自身近くにいた方から場所を譲っていただいたり、また別の方に私が譲ると笑顔を返していただいたり。父兄の皆さんも譲り合いのお気持ちをもった方が多いのかなと嬉しく思いました。』『入れ替え制のお陰で早朝から場所取りをしなくて済んだこと、私共親が立っていたのでフットワークがよく、自分の子供が見える場所に気軽に動くことができかえって良く参観できました。』など、ほとんどの方が約束を守って気持ちよく参観して下さったことが分かり、大変有り難く思いました。

何より嬉しかったのは、子供たちの心の成長を皆さんが誉めて下さったことです。

『5、6年の組体操には感動させられました。一人一人の真剣な取り組みや緊張感、それを傍で見守り助ける先生方、そして大技が完成したときの素晴らしさ。全てに感動しました。』『組体操を初めて見ましたが、上に乗る子、下で支える子、それぞれがお互いを気遣い一生懸命に取り組んでいる姿に感動しました。』

『他学年の演技の時に遊んでいる子が一人もなく、真剣に応援する姿が素晴らしかったです。』『高学年の児童が低学年を気に掛け、声を掛けてくれたり、面倒を見てくれたりしているのを見て、とても嬉しく思いました。他学年との関係が常にできているのだなと感じました。』『全身真っ白になりながら、何度も何度も通路に水を撒いていた子供たちがいました。撒いても撒いてもすぐに乾いてしまうので休み無く撒かなくてはいけませんでした。一心に何度も水道から水を汲み撒き続けていました。その子供たちが水を撒いた後の風が本当に爽やかで心地よかったです。』

私達教職員や工事の方達にまで心を配ってくださる方もいて、疲れが吹き飛ぶ思いでした。

『運動会での様子から、普段先生方が子供たちとどう関わっているか察することができました。私達家族の住むマンションから先生方の取り組みが一望できます。朝早くからラインを引き子供たちと一緒に取り組む姿がよく分かりました。』『工事の方がスローガンを掲げて下さったとのこと。代表委員会に何かお手伝いしますと言いに来て下さったことや片付けもして下さったとのこと。工事の方はお休みの日ではなかったのかと思い、驚きました。』 埃対策や音響、シートの位置などまだまだ改良しなくてはいけないことが沢山ありますが、皆様のご協力の良い運動会ができたことを厚く感謝申し上げます。

今日から読書旬間が始まります。私は今、校長室を訪ねてくれる子供たちのために素晴らしい写真の虫の本を集めています。個人的には内田洋子さんというエッセイストのイタリア話に“はまって”います。恥ずかしなはずとローマとイタリアは別の国だと思っていた私ですが…。そんな本談義を、保護者の皆様とも気軽にできる時間があつたらなあと思います。